

＜ あなたの治療について ＞

消・外-Zolbetuximab/CAPE-胃-q3w

今回の治療は、Zolbetuximab/CAPE 療法という治療法で、カペシタビンという内服薬とビロイという注射薬を併用して行います。カペシタビン、ビロイはともに腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行い、1日目の点滴の日の夕から15日目の朝に渡ってのみ薬を服用します。（2日目の朝から15日目の夕まで服用する場合があります）この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目(夕)～15日目(朝)	16～21日目
	カペシタビン (抗がん剤) 1000mg/m ² ×2/day	内服		お休み

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2～21日目
①	デキサート ネオレスタール (アレルギー予防・ 吐き気止め)	点滴 約15分		お休み
②	パロノセトロン (吐き気止め)	点滴 約15分		
③	ビロイ (抗がん剤) 600 mg/m ²	点滴 約2時間以上		



点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

カペシタビン・ビロイによる

- 白血球減少、リンパ球数減少、赤血球数減少 ●血中ビリルビン増加
- 悪心、嘔吐、食欲不振 ●手足症候群 ●インフュージョンリアクション

◎特徴的な副作用について

カペシタビンにおける

●手足症候群 (Hand-foot syndrome)

「手のひらや足の裏の感覚が鈍くなったり過敏になる、手足の皮膚の赤み、水ぶくれ、ただれ」などの症状

ピロイにおける

●インフュージョンリアクション

「呼吸困難、意識の低下、意識の消失、まぶた・唇・舌のはれ、発熱、寒気、嘔吐、咳、めまい、動悸」などの症状

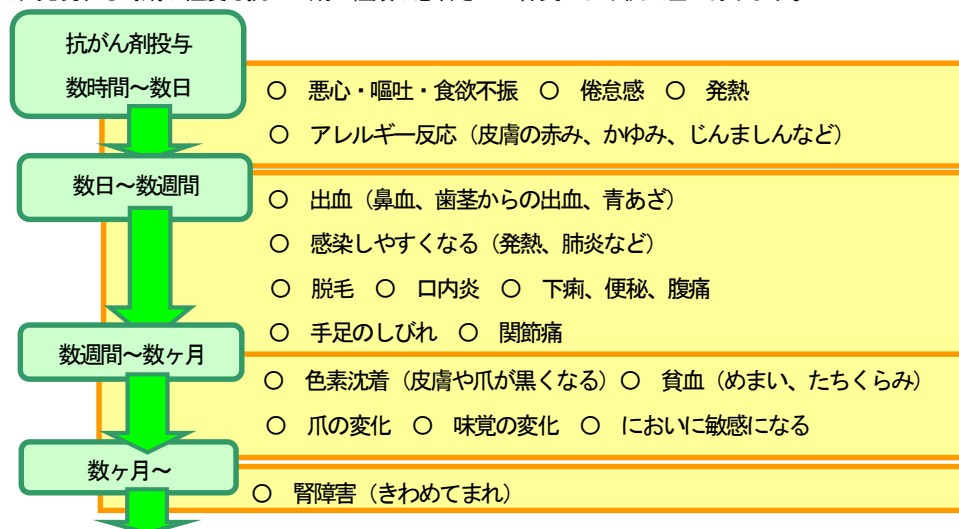
*** 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

◎副作用の発現時期の目安

* この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



◎副作用の対策について

★吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

◎薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【カペシタビン】

[脱水症状] 喉が渇く、体重が減る、立ちくらみ、めまい、疲れやすい、体に力が入らない、手足がつる

[手足症候群（Hand-foot syndrome）] 手のひらや足の裏の感覚が鈍くなったり過敏になる、手足の皮膚の赤み、水ぶくれ、ただれ

[心障害] むくみ、冷汗が出る、息苦しい、息切れ、疲れやすい、体重の増加、しめつけられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけた感じ、あごの痛み、左腕の痛み

[肝障害] 疲れやすい、体がだるい、力が入らない、食欲不振、吐き気

[黄疸] 白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

[腎障害] むくみ、尿量が減る、体がだるい

[骨髄抑制] 発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、息切れ、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸

[口内炎] 口内の粘膜や舌に白い膜ができ、スムーズでなくなる、飲食時の口内の痛み、物が飲み込みにくい、口内の傷・腫れ、食欲不振

[間質性肺炎] 咳、息苦しい、息切れ、発熱

[重篤な腸炎（出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎等）] 突然の激しい腹痛、激しい腹痛、下痢、血が混ざった下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）、発熱、吐き気、嘔吐、お腹が張る、ふらつき、息切れ、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる

[重篤な精神神経系障害（白質脳症等）] 歩行時のふらつき、口のもつれ、動作が鈍くなる、意識の低下

[血栓塞栓症] 吐き気、嘔吐、脱力、まひ、激しい頭痛、胸の痛み、押しつぶされるような胸の痛み、突然の息切れ、お腹が張る、足の激しい痛み

[皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）] 発熱、眼の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する

[溶血性貧血] 体がだるいめまい、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、息切れ、尿の色が濃くなる

【ピロイ】

[過敏症] ふらつき、息苦しい、かゆみ

[インフュージョンリアクション] 呼吸困難、意識の低下、まぶた・唇・舌のはれ

[重度の吐き気・嘔吐] 吐き気、胃がむかむかする、胸やけ

◎ 上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。